

メールマガジン埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.328 2021.1.20

県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」
1月1日(金・祝)放送 特別番組「新春インタビュー」
(田村琢実議長・小久保憲一副議長)

皆さまいかがお過ごしでしょうか。

県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の様相など県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、1月1日(金・祝)に放送した特別番組「新春インタビュー」(田村議長・小久保副議長)の内容をお伝えします。

次号は特別番組「新春インタビュー」(主要会派代表議員)をお届けします。ぜひご覧ください。



☆放送スケジュールなどは、県議会のホームページからご覧になれます。》

INDEX



県議会広報

〈こんにちは県議会です 特別番組「新春インタビュー」〉

- ・田村琢実 議長
- ・小久保憲一 副議長



議事堂の花

生け花のご紹介



県議会広報

【こんにちは県議会です 特別番組「新春インタビュー」】

◆田村琢実 議長◆

議長 本年もどうぞよろしくお願いいたします。
す。

—議長にとって、昨年はどうのような1年でしたか。—



議長 埼玉県においても、昨年2月の末頃から感染者数が増加し、また緊急事態宣言が発令されるなど、埼玉県もコロナ対応で追われた1年でありました。

—議会としてどのように取り組まれたのでしょうか。—

議長 埼玉県議会といたしましては、私が議長に就任をさせていただいてからすぐの4月7日に緊急事態宣言が発令されたことを受け、議会としての対応を迫られたところであります。県民からの多くのご要望また現場の医療機関などのご要望等々を一元的に執行部に提案するそのような体制づくりをさせていただきました。また、補正予算の審議に追われた1年でありました。

—特別委員会も設置されましたね。—

議長 埼玉県議会では、緊急事態宣言下を含む執行部の対応に対しまして、しっかりと検証をし、その後のコロナ対応に生かしていくために特別委員会を設置し、審議をいたしました。特別委員会では、さまざまな意見や提言を出すことにより、執行部の現在の対応に生かされているところであります。



—議長として仕事に臨まれたわけですが、印象に残っていることは何でしょうか。—

議長 昨年3月に埼玉県ケアラー支援条例というものを議員政策条例として、制定をさせていただきました。このケアラー支援条例とは、ケアラーに関して全国で初めて制定された条例として注目をされているものであります。内容といたしましては、家族介護に従事されている皆さま方をどのようにケアしていくのかという計画を埼玉県が立てたり、また支援をしていく内容となっております。特にヤングケアラーと言われていた18歳未満のケアラーの皆さま方を把握し、そして救っていくその手立てを記載した条例となっております。



—全国でも初めてということで注目されているのですね。—

議長 全国の都道府県議会や市町村議会など、また行政の多くの視察を今、いただいているところであります。

また、厚生労働省がこの条例をきっかけとして、全国のヤングケアラーの

実態調査に動き出していただけるなど、多くの影響が出ており、私も制定者の一人として嬉しく思っております。

—その他にもありますか。—

議長 埼玉県議会では、平成28年3月に手話言語条例というものを議員政策条例として制定をさせていただきました。この施行を受け、昨年6月定例会において本会議場に初めて手話通訳者を配置をさせていただきました。聴覚障害者の皆さまからも多くのご要望をいただき、この配置した手話通訳者を来年度以降も継続してこの配置ができるように現在精査をし、そして取り組みを進めていきたいと考えております。

—今年には埼玉県が注目される年になりそうですね。—

議長 埼玉県誕生150周年記念イベントなどさまざまなものがありますが、特に私が注目しているのは、渋沢栄一翁の大河ドラマが始まるなど渋沢栄一翁に関するものであります。

—大河ドラマに合わせて深谷市も盛り上がっているようですね。—

議長 深谷市においては、大河ドラマ館が放送に合わせてオープンするなど大きな期待が寄せられているところであります。

また、嵐山町においては、撮影が行われるなど渋沢栄一翁の大河ドラマに関する多くのイベントやまた、催しが期待できる場所であると思っております。

—続いて1年延期となった東京オリンピック・パラリンピックですが、今年は開催されるとよいですね。—

議長 私も開催できるように期待を込めて準備を進めてまいりたいと思っております。埼玉県においては、ゴルフ、サッカー、バスケットボール、そして射撃など4競技が4会場において行われることになっております。また、パラリンピックにおいては、朝霞の射撃場が使われる予定となっております。万全の体制で行えるよう、また大会が成功裏に終わるように埼玉県といたしましても準備が進められるよう、県議会といたしましても尽力してまいりたいと思っております。

—最後に、新たな年に向けた抱負や決意を教えてください。—

議長 埼玉県議会の議長として、円滑な議会運営に努めることとまた埼玉県議会が新たな条例づくりや施策の発展に対し、取り組みを進め、県民の安全・安心がより高まることを期待をしたいと思っております。

◆小久保憲一 副議長◆

副議長 副議長の小久保憲一です。本年が皆さまにとって、・きばらしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

—昨年を振り返ってのご感想をお聞かせくだ



さい。ー

副議長 副議長就任直後、4月7日に緊急事態宣言が発令され、私と議長は日々議会に詰め、対策に当たりました。新型コロナウイルス感染症流行という、前例のない危機に直面し、県民の皆さまの命を守るために奔走し、また、多くの方に助けられた一年でありました。特に、埼玉県は人口当たりの医師数が全国で最も少ない県ですので、医療従事者の方のご苦労は計り知れません。社会インフラを支える方々の献身的な仕事や、県民の皆さまのご協力に心より感謝いたします。

ー議会として行ってきたことは何でしょうか。ー

副議長 一つは、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を立ち上げて、県執行部の対応について審査を行い、知事に提言を行いました。引続き、確認・検証を行い、全力でこの難局を乗り越えて行かなければなりません。

ー副議長として仕事に臨まれた訳ですが、印象に残っていることは何でしょうか。ー

副議長 11月に川口市で開催された9都県市合同防災訓練です。菅総理をはじめ、知事や地元市長、議員など多くの参加者が見守る中、緊迫した訓練でありました。24機関1,200人を超える方が参加し、「新型コロナウイルス感染症対策に配慮した訓練」が実践的に行われました。本県も、令和元年東日本台風において甚大な被害を受け、いまだ復興途上です。



緊急時、国・県・市町村・自衛隊・警察・消防といった防災関係機関がスムーズに連携し、被害を最小限に食い止めることが重要です。特にコロナ禍の防災訓練は、貴重な経験でありました。

ー今年、期待することはありますか。ー

副議長 今年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」は、深谷市出身の実業家、渋沢栄一が主人公です。渋沢栄一は、2024年発行の新1万円札の肖像に決定し、全国から注目されています。実は、そのロケが私の地元、嵐山町で行われ、地元の皆さまがエキストラで出演されたと聞き、放送が楽しみです。

ー副議長は、渋沢栄一のどのような所に注目されていますか。ー

副議長 渋沢栄一は、経済と福祉両方に、数多くの功績を残しています。これは正に、政治における車の両輪です。私自身も学びながら、議会に生かしてまいります。

また、先の話ですが、来年の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」には、地元の武将畠山重忠が登場すると聞いており、楽しみです。

ー新年の抱負をお聞かせください。ー

副議長 新年を迎え、新型コロナウイルスに打ち勝つ一年となるよう、われわれ県議会も全力を尽くす決意です。

そして、コロナ禍においても、本県の課題は決して消えたわけではありま

せん。県民の皆さま方が安心安全に暮らせるよう、本年も副議長として、田村議長と連携し、議会運営に努めてまいります。県民の皆さまには引き続き、県議会に対するご支援、ご協力をお願い申し上げます。

[▲トップへ](#)

❁ 議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。
【協力 埼玉県いけばな連合会】



◆展示期間
11月16日～
11月20日
◆作者
桂古流
新藤華盛様
◆花材
ボケ、孔雀檜
葉



◆展示期間
11月24日～11
月27日
◆作者
桂古流・桂流
杉田里翠様
◆花材
アルストロメ
リア、石化柳、
かすみ草

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈桂古流 新藤華盛様〉

Q: 並んだ2本の枝のバランスが美しい作品ですね。

A: 二管生けという生け方で、陰陽の和合を考えて生けています。低い器に背の高い孔雀檜葉の枝を、高い器に下方へと曲がりくねったボケの枝を生けることで作品にメリハリをつけています。

Q: 花器の配置にもこだわりがあるのですか。

A: 二つの花器の間に空間をあけつつも、2本の枝の間が離れすぎない

絶妙な距離感が残るよう生けました。まっすぐに伸びる枝と曲線を描く枝の、両者のつりあいを考えて生けました。



〈桂古流・桂流 杉田里翠様〉

Q:3種の花材のバランスが美しい、優雅な印象を与える作品ですね。

A:それぞれの花材を作品の高い所と低い所、そしてその中間にと配置して全体的に均整がとれるよう生けました。寂しい印象を与えないよう、華やかなカスミソウを入れました。

Q:剣山を使わずに生けているのですね。

A:古典生花は本来かごを使って生けますが、今回は花器についているくぼみを使用して積み重ねるように生けました。花器から伸びる石化柳は、先端がしなやかに踊っており優美な雰囲気を生み出しています。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。》

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●[「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから](#)》

※・登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257/FAX 048-830-4923

